

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	保健福祉局障害福祉部障害福祉課
評価対象期間	平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日

1 指定概要

施設概要	名 称	北九州市立戸畑障害者地域活動センター	施設類型	目的・機能
			I	— ⑦
	所 在 地	北九州市戸畑区千防一丁目 1 番 1 6 号		
	設置目的	利用者の作業支援、生活支援、健康管理その他の支援を行うことにより障害者の生活及び福祉の向上に資することを目的としている。		
利用料金制		非利用料金制 ・ 一部利用料金制 ・ <u>完全利用料金制</u>		
		インセンティブ制 有・ <input type="checkbox"/> 無	ペナルティ制 有・ <input type="checkbox"/> 無	
指定管理者	名 称	社会福祉法人北九州身体障害者福祉事業協会		
	所 在 地	戸畑区北鳥旗町 2 番 2 2 号		
指定管理業務の内容		障害福祉サービス事業所（生活介護、自立訓練（生活訓練）、就労移行支援（一般）、就労継続支援（B型））の管理運営。		
指定期間		平成 2 4 年 4 月 1 日～平成 2 9 年 3 月 3 1 日		

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント											
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み											
(1) 施設の設置目的の達成											
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。											
② 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。											
③ 利用者のサービス提供計画に基づき、適切に福祉サービスが実施されているか。											
<p>【所見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の個々のニーズに応じられるよう、個別支援計画等に基づき適切な福祉サービスの提供に努めるとともに、実施サービス個々の課題に対する取組みにより新規利用者の確保に努めている。（平成 25 年度:20 名） ・障害者スポーツ大会、風船スポーツ大会への参加や、ミュージックケア講座やバスハイク・調理実習の実施等、レクリエーション活動にも積極的に取り組み、利用者の福祉向上に努めている。また、「戸畑活動センターまつり」の開催、地域自治会の清掃に参加するなど社会参加の促進、社会性の育成の取り組みも行っている。 ・HP（ブログ形式）による情報発信（更新回数 32 回/年）や広報誌「スマイルだより」の発行、「戸畑活動センターまつり」の案内のポスティング等、地域住民等への広報に努めている。 ・就労支援事業では、事業所内に 4 種類の工房を設け多様な訓練環境を整えるとともに、各種講座の実施や、企業・事業所における視察や現場実習の機会を増やすなどによる取り組みを行っている。また、「戸畑障害支援ネットワーク」における協同販売の実施（2 回）等や、新戸畑図書館の 1 階の展示コーナーにおいて、自主製品を展示するなど、自主製品の販売促進に努めている。 ・就労移行支援について、年度当初 4 月の登録者 15 名のうち 10 名が就労（過去最高就労実績）し、7 名が定着している。また、関係機関と連携し利用者の増加を図った結果、前年度に比べ総利用者数も延 308 人増加となった。 ・就労継続 B 型における月平均工賃は、量販店の POP 製作の作業が平成 25 年 7 月に終了したことにより、目標値（13,380 円）を下回る 7,697 円となったが、平成 26 年度より新たな受注等も決定しており、利用者の作業量及び工賃確保に努めている。また、1 名が就労した。 ・延利用者数は、就労移行支援の利用者は伸びているが、全体としては前年度より 459 人減となる 16,317 人となる。 											
<p>【一般就労】 単位：人</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">年度</th> <th style="width: 25%;">【参考】H23 年度（更新前）</th> <th style="width: 25%;">H24 年度</th> <th style="width: 35%;">H25 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実績</td> <td>8</td> <td>1</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table>				年度	【参考】H23 年度（更新前）	H24 年度	H25 年度	実績	8	1	11
年度	【参考】H23 年度（更新前）	H24 年度	H25 年度								
実績	8	1	11								

【月平均工賃額（就労継続B型）】

単位：円

年度	【参考】H23年度(更新前)	H24年度	H25年度
目標値	—	13,120	13,380
実績	13,034	12,026	7,697

(2) 利用者の満足度

- ① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。
- ② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。
- ③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。
- ④ 利用者への情報提供が十分になされたか。
- ⑤ 利用者の生活の質の向上を目的としたボランティア等の活用が行われており、その効果があったか。
- ⑥ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。

【所見】

- ・アンケートの結果、施設の各サービスの「とても良い」、「良い」を合わせた評価は、80%（生活介護90%、就労支援81%）を超えており、全体的に利用者の満足度は高いものとなっており、目標も達成している。
- ・平成25年度は、就労、自立訓練の利用者を対象とし、初めての一泊旅行を実施する等、家族会からの要望等にも対応を行っている。（26年度は生活介護利用者を対象に計画）
- ・毎日の朝礼、終礼の他、月の初日に説明会を開催して月間行事等について利用者に連絡するとともに、日々の連絡帳等により利用者や家族等への情報発信や意見要望の把握に努め、利用者の医療受診に関する相談や関係機関との調整支援等、多種多様な案件の対応に努めている。
- ・利用者からの苦情に対して適切に対応していくため、法人として苦情解決制度を設けており、また、施設としても利用者から出された意見や苦情等に対して適切に対応している。
- ・平成25年度の取り組みとして、小学校児童とのパン作り教室の開催（2回開催、小学生8名参加）、隣接高齢者入所施設との交流（1回開催、延べ高齢者施設利用者4名、利用者5名）を行い、新たな取り組みを取り入れることで利用者サービスの向上に努めている。
- ・生活介護にて平成22年度から導入された「活動ポイント制度」では、理学療法士による機能訓練のメニュー化とポイント制度の連動等により、訓練の達成感の醸成が図られている。（H25 目標達成者延べ223名）

施設の総合評価

【満足度】

単位：％

年度	【参考】H23年度(更新前)	H24年度	H25年度
目標値	80	80	80
実績(生活)	77.1	87.1	89.5
実績(就労)	78.3	85.1	80.9

2 効率性の向上等に関する取組み

(1) 経費の低減等

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取り組みがなされ、その効果があったか。
- ② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。
- ③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

【所見】

- ・各種点検や清掃業務委託に複数年契約を取り入れるなど経費削減に努めている。
- ・契約の際には、複数社から見積もりを徴し、特に、一定以上の金額の契約については、競争入札により、業者の選定を行っている。
- ・低圧電力（動力）の負荷設備契約を主開閉器へ変更することにより、契約電力量を引き下げ基本料金の低減を図る等、経費削減に努めている。

【光熱水費】

単位：千円

年度	【参考】H23年度(更新前)	H24年度	H25年度
予算	6,010	6,294	5,346
決算	4,672	5,484	4,694

(2) 収入の増加

- ① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。

【所見】

- ・提供するサービスは法定であり、報酬単価も国基準であるので、収入増加の工夫の余地がない。

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み

(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。
- ② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。
- ③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。

④ モニタリングの結果、施設の維持管理が適切に行われているか。

【所見】

- ・施設内において管理運営にあたる人員は適正に配置されており、施設の維持管理は適切に行われている。
- ・職員向けの研修の実施（外部研修年32回、センター独自年9回）や、職員提案制度による採用事業の実施（8提案採用）により、職員の資質向上、モラルアップを図っている。
- ・「戸畑障害支援ネットワーク会議」を主催し、他施設・事業所（参加団体46）との情報交換や事例検討・研修会（年9回、延べ177人参加）を実施し、関係団体との連携並びにサービスの向上に努めている。また、ネットワーク会議と地元商店街による「いいちゃ戸畑福祉まつり」を協同開催するにあたり、平成24年度より、事務局として実行委員会を支援地域への貢献を深める等、一層の交流に取り組んでいる。
- ・体験実習として、特別支援学校等の生徒（延べ5人）を受け入れ、生徒の今後の進路決定の一助を担っている。
- ・職場体験としても、社会福祉関係等の資格取得実習生として専門学校生や大学生等（延べ49人）を受け入れ、将来の社会福祉人材の育成に貢献している。

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

- ① 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。
- ② 施設の利用者に対する人権が尊重され、また、身体拘束及び虐待等の防止策が適切に実施されているか。
- ③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。
- ④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。
- ⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。
- ⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。
- ⑦ 衛生管理及び感染症防止への対応が適切であったか。
- ⑧ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。

【所見】

- ・利用者の個人情報保護、衛生管理、事故防止、虐待防止等について、マニュアルを整備するとともに、リスクマネジメント研修、虐待防止研修を実施し、職員の意識向上を図っている。ヒヤリハット事例が発生した際には、職員に周知を図るとともに、環境整備、職員の増員等により、再発防止策を講じ、適切な管理運営に努めている。
- ・市の「人権の約束事運動」に参加し、人権尊重の意識向上を図っている。

【総合評価】

【所見】

計画的に様々な取り組みを行い、利用者の福祉の向上や、適切なサービス提供に努めている。それぞれのサービスにおいて、現状の課題や利用者個々に必要な支援について工夫

された取り組みがなされており、また、レクリエーション活動や地域交流に積極的に取り組んでいる。その結果、アンケート調査による利用者の満足度も高いものとなっている。

また、職員提案制度等により、職員の資質や能力向上を図っており、その他にも「戸畑障害支援ネットワーク会議」を主催して、関係機関との情報交換や事例検討等を行うことにより適切な支援体制づくりや地域貢献に努めている。

[今後の対応]

現状に引き続き、施設の管理運営の適切な実施、また、利用者のための活動・支援内容の更なる向上により、利用者数の増加や一般就労及び工賃目標の達成を期待する。